



事例ファイル:3

医療法人 栄和会  
**泉川病院**

南島原市深江町丁2405



【病院の特徴】

「地域社会に貢献し、愛され信頼される病院を目指します」という病院理念のもと、地域の方々が住み慣れた地元で安心して医療・看護が受けられる病院づくりを推進しています。また、高度医療、安全確保への対応ができるよう「7対1看護配置」看護体制を取得して安全、安心な手厚い看護の提供と看護専門職としての育成強化につとめています。

- 【設置主体】医療法人
- 【病床数】120床
- 【病床稼働率】87%(H25年度)
- 【入院基本料】7対1
- 【看護職員数】正規職員117名、非正規職員12名(H25年度)
- 【看護職の平均年齢】37.8歳(H25年度)
- 【離職率】0.3%(H25年度)

主な取り組み

◎WLB推進にむけて

- ・経営陣への取り組み紹介
- ・看護局内での体制づくり
- ・インデックス調査結果よりアクションプランの立案と実施

1年目(平成23年度)

👑 1年目の成果

- ◆子育て支援制度が充実し、院内託児所利用料金補助
- ◆制限のない勤務者への手当て増額支給
- ◆意見箱設置により職員の生の声を聴くことができるようになった
- ◆有給休暇の時間取得

【課題】

- ◎WLB事業推進に向けた部門間連携が不十分
- ◎他部門を巻き込んだ業務調整が必要

◎2年目アクションプラン実施と評価

- ・インデックス調査結果の説明とフィードバック
- ・看護業務の整理
- ・他職種との業務調整

2年目(平成24年度)

👑 2年目の成果

- ◆前年度インデックス調査結果より否定的な回答が過半数を超えた項目に対し、原因と対策について追跡調査
- ◆削減できる業務はなかったが、緊急入院対応担当の決定により時間外勤務の減少に貢献。看護師自身で「…ねばならない」ととられ、自ら業務増加傾向にあることもわかった。
- ◆薬剤師、メディカルクラーク、看護補助者との業務分担明確化による超過勤務の減少

【課題と感想】

- ◎看護業務の範疇は広く多岐にわたっており、これまで長い間引き受けてきた業務を他職種に移譲することは困難を極めるのが現状である。
- ◎今回薬剤師やメディカルクラークの参入により、超過勤務減少に直接つながりスタッフからは喜びの声がきかれた。しかし看護業務そのものについて移譲することへの不安感がぬぐえず、改善には至っていない。

◎3年間のアクションプラン実施と評価

- ・超過勤務の削減と看護師処遇改善
- ・看護の質向上

3年目(平成25年度)

👑 3年目の成果

- ◆看護補助者の増員による業務負担の軽減
- ◆電子カルテ端末補充による記録時間の短縮
- ◆制限のない職員への手当て
- ◆託児所の遅出対応
- ◆オンデマンド研修導入
- ◆段階別、職種別等役割に対応した研修の実施

【3年間の振り返り】

- ◎法人全体を巻き込んだ取り組みには至らなかったが、部門間での調整等は検討し、協力を得ることができた。
- ◎また、参加したことにより当院のよさも職員にアピールすることができた。今後も現状に満足することなく期待される役割と責任を果たしつつ職場の業務改善に取り組んでいきたい。

WLB News!

これからWLBの取り組みが始まります!! ▶▶

社会医療法人 春和会  
井上病院

看護部長 能田 美穂



勤務表は、ベストセラーだと言われる。横軸は個人の生活の質、縦軸はその日の部署の看護の質を左右し、どちらも譲れない。個人の仕事と生活もまた同じである。時間という制約の中で、質の高い看護の提供という「責任」と「充実感」を得るためには、意識した働き方をする必要があると考え、全員参加型で取り組んでいきたい。